

DVD視聴用テキスト 第2巻 タイトル：伝わりやすい日本語を使いましょう。

【1】ティーチャー・トーク： _____

⇒ 外国につながりを持つ子どもに対して、日本語指導や教科学習指導を行う上で非常に重要なスキル。

【2】理解を妨げるもの

◆教師って（私も含めてですが）、「話したがりがり・教えたがり」の人、多くないでしょうか。（？）
子どもからの質問・疑問に対して、つい余計な“言語情報”を付け加えて話をしていることが多そうです。

(1) 待遇度（丁寧さの度合い）が高い表現

学習者の保護者と話す時、「お忙しいとは存じますが、一度学校の方へ来ていただけると当方としましてもありがたいのですが・・・。」

日本語の理解度があまり高くない外国人は、これで理解できるでしょうか。

→ _____を使うと分かりにくい日本語になってしまう。

◎伝わるように言い換えると、 _____

(2) フィラーを無意識に多用する。：フィラー = 話をつなぐ時に出す「あー、えー、あの一」など <例>

日本語指導の授業で学習者にリピートさせるため教科書をモデル発話として読み上げるとき、

T：「えー、わたしは えー、ブラジル人の えー、サントスです。」じゃ、Aさん読んで。

L：「えー、わたしは えー、ブラジル人の えー、サントスです。」

→ そのままりpeatしてしまふ。それが正しい形としてインプットされる可能性がある。

(3) 接続表現（複文）を多用する。

<例>「今から作文のテストをするので、机の上は鉛筆と消しゴムだけにして、隣の人としゃべるのをやめて、黒板に書かれた注意をよく読みながら、試験開始までしばらく待つように。」

→ なるべく、単文（主語と述部が1組だけ出てくる文）で話すようにする。

◎伝わるように言い換えると、 _____

(4) 地域方言：使うこと自体を否定はしませんが、初級の学習者には規範的な日本語を覚えて
もらいたい。→ 書き言葉としての日本語は“いわゆる共通語”。

<例>雨がな、明日な、降ってしもたらな、運動会、明日中止になるやん。ほんでもって、
給食はあらへんから、〇〇くんにな、弁当はもってこなあかんてな、言うの忘れたら
あかんて一。

◎伝わるように言い換えると、

(5) 漢語語彙の使用：初級レベルの学習者（非漢字圏）には難しい。

<例> 1. [プリントに印刷されている用語] 提出期限厳守

◎伝わるように書き換えると、_____

2. [校内放送で] 来年度の生徒会役員立候補予定者は午後3時生徒会役員室に集合のこと。

◎伝わるように言い換えると、

【3】分かりやすく話すポイント

◆学習者（こどもたち）が理解可能な文型・語彙・スピードでコントロールされた話し方を心がけたい。

保護者と話す場合も同様です。

次の文をわかりやすく言い換えてみましょう。

①未習の文型・単語を使わない。

◇『みえこさんの日本語』が終わったぐらいのレベルの子どもに対して

▲「パウロさんさー、これなー、理科室へ運ぶの手伝ってくれたら、うれしいんやけどなー」

⇒ ○「 _____ 」

▲「カバンに入っている昨日一緒に練習した漢字のノートを出してください」

⇒ ○「 _____ 」

②難解な語彙をやさしい言葉や表現で置き換えて。 または言葉に頼らないコミュニケーションで。

1) [電話で保護者に対して] 明日(みょうにち)放課後、ご自宅を訪問させていただきたいのですが・・・。

⇒

2) [教室での説明] 次週土曜日は授業参観となっております。よって、弁当持参。このクラスは
体育だから、雨天の場合、体育館で実施します。

⇒

3) [外国人向け入学説明会などでの挨拶]

梅のつぼみも膨らみかけ、春の足音も聞こえてくる季節となってまいりましたが・・・
大変ご多忙の中、ご出席をいただきまして、有り難く・・・

⇒

③ゆっくりと（不自然にならない程度で）はっきりと。大切な部分はくり返す。

【4】コミュニケーションを上手く図るには

◆非言語コミュニケーションを上手く活用する。

言語コミュニケーションと非言語コミュニケーションの割合は〔約 %〕：〔約 %〕

◆学習者の母語の活用

⇒ 学習者の母語能力が高い場合、教師が学習者の母語の理解に努めることで、お互いに歩み寄り
のあるコミュニケーションを図ることができる。